

●法学研究科 (TEL 06-6605-2303)

《法学政治学専攻》

法学政治学専攻は、前期博士課程と後期博士課程があり、分野は下表のとおりです。なお、後期博士課程の授業科目は、前期博士課程に準じた科目を予定しています。

※担当教員欄が空欄の科目は本年度不開講
 ※担当教員名に()が付いている教員は非常勤講師

【授業科目】

	授業科目名	単位	担当教員		授業科目名	単位	担当教員
《基礎法学》	法 哲 学	4	阿部昌樹 安竹貴彦	《政治・行政学》	政 治 学	2	稗田健志
	法 社 会 学	4			政 治 学 史	2	宇羽野明子
	日 本 法 制 史	4			政 治 文 化 論	2	宇羽野明子
	東 洋 法 制 史	4			日 本 政 治 外 交 史	2	
	西 洋 法 制 史	4			欧 州 政 治 外 交 史	2	野田昌吾
ロ ー マ 法	4		国 際 政 治	2	永井史男		
《公法》	憲 法 第 1	4	阿部和文	《共通》	行 政 学	2	手塚洋輔
	憲 法 第 2	4			公 共 政 策 論	2	
	憲 法 第 3	4			都 市 政 治	2	
	行 政 法 第 1	4	重本達哉		政 治 過 程 論	2	野田昌吾
	行 政 法 第 2	4			ア ジ ア 政 治	2	永井史男
	環 境 法	4	高田倫子		日 本 外 交 論	2	
	刑 事 法 第 1	4			比 較 政 治	2	稗田健志
	刑 事 法 第 2	4	金澤真理		都 市 政 策	2	
	刑 事 法 第 3	4			地 方 自 治 論	2	手塚洋輔
刑 事 法 第 4	4	三島聡	特 殊 講 義	4	(高田篤)		
刑 事 政 策	4		(ド イ ツ 法)				
《私法》	民 法 第 1	4	藤井徳展 小柿徳武 仲卓真 高橋英治 仲卓真 岡成玄太 鶴田滋	特 殊 講 義	2	渡邊賢	
	民 法 第 2	4		(憲 法 特 論)			
	民 法 第 3	4		特 殊 講 義	2	渡邊賢	
	民 法 第 4	4		(公 法 研 究)			
	民 法 第 5	4		特 殊 講 義	2	森山浩江	
	民 法 第 6	4		(民 法 特 論)			
	商 法 第 1	4		特 殊 講 義	2	森山浩江	
	商 法 第 2	2		(民 事 法 研 究)			
	商 法 第 3	4		特 殊 講 義	2	坂口甲	
	商 法 第 4	4		(民 法 特 論)			
	企 業 法 務	2		特 殊 講 義	2	坂口甲	
	知 的 所 有 権 法	2		(民 事 法 研 究)			
	民 事 訴 訟 法 第 1	4		特 殊 講 義	2	杉本好央	
	民 事 訴 訟 法 第 2	4		(民 法 特 論)			
民 事 執 行 ・ 保 全 法	2	特 殊 講 義	2	杉本好央			
倒 産 法	4	(民 事 法 研 究)					
《社会法》	労 働 法	4	根本 到 川村行論 淵川和彦	特 殊 講 義	2	吉原知志	
	社 会 保 障 法	4		(民 法 特 論)			
	経 済 法	4		特 殊 講 義	2	吉原知志	
《国際関係法・外国法》	国 際 法	4	中井愛子 桐山孝信 国友明彦 国友明彦	(民 事 法 研 究)			
	国 際 組 織 法	4		特 殊 講 義	2	勝田卓也	
	国 際 経 済 法	2		(英 米 法 特 論)			
	国 際 私 法 第 1	2		特 殊 講 義	2	勝田卓也	
	国 際 私 法 第 2	2		(外 国 法 研 究)			
	国 際 民 事 手 続 法	2		特 殊 講 義	2	守矢健一	
	国 際 取 引 法	2		(ド イ ツ 法 特 論)			
	英 米 法	4		特 殊 講 義	2	守矢健一	
	ド イ ツ 法	4		(外 国 法 研 究)			
	フ ラ ン ス 法	4					
	比 較 法 文 化 論	4		外 書 講 読	2・4		
ア ジ ア 法 第 1 (中 国 法)	4						
ア ジ ア 法 第 2	4	《研究》	特 別 研 究	14			

【研究テーマ】

教員名	研究テーマ
阿部 昌樹	法実現過程の経験的研究、法の社会理論
安竹 貴彦	近世における江戸法・大阪法の比較研究、明治初年の刑事法・刑事訴訟
阿部 和文	憲法（特に、プレス自由）
渡邊 賢	出入国管理行政と外国人の人権・公務員の労働基本権
重本 達哉	行政代執行をはじめとする伝統的な行政上の義務履行確保制度の現代的意義
高田 倫子	裁判所による行政統制、権力分立における裁判所の地位
金澤 真理	中止未遂論、社会内処遇制度の比較研究
三島 聡	警察活動の透明性、裁判員裁判の評議
松倉 治代	黙秘権、自己負罪拒否特権
徳永 元	刑事責任の基礎理論、適法行為の期待可能性論
森山 浩江	契約法および家族法
坂口 甲	日独給付障害法研究
杉本 好央	日独仏契約法制の歴史的研究
藤井 徳展	欧米各国国内法、国際条約、および国際的取引原則を対象とした契約法の比較法研究
吉原 知志	区分所有、共有、団体を通じた財産法の研究
小柿 徳武	企業統治における監査および開示制度
仲 卓真	同族会社と会社法、金融商品取引法
高橋 英治	日独会社法の比較研究、ドイツ商法の継受史、コーポレートガバナンスの比較法的研究
岡成 玄太	財産管理と民事手続法、当事者論
鶴田 滋	民事訴訟における多数当事者訴訟・当事者適格・判決効に関する研究
根本 到	日独労働契約法の研究
川村 行論	年金法制における資産管理・運用に関する法規範
湊川 和彦	買手独占の研究、デジタル・プラットフォーム市場の規制に関する研究
中井 愛子	国際法の形成過程、法の地域統合、国際法と国内法の関係
桐山 孝信	国際組織の活動が国際法の発展に及ぼす影響
国友 明彦	法適用通則法・ハーグ子奪取条約の解釈、国籍法
勝田 卓也	陪審制度、米国最高裁・司法制度
守矢 健一	ドイツ近代法史研究・法の基礎理論
王 晨	民法の比較研究、中国法全般
稗田 健志	先進民主主義諸国の政治経済・社会保障政策
宇羽野明子	ルネサンス・初期近代のヨーロッパ政治思想史
野田 昌吾	戦後ドイツの政治体制、ヨーロッパ比較政治
永井 史男	東南アジアの国際関係、東南アジア諸国の中央・地方関係、タイの政治行政
手塚 洋輔	過誤と帰責をめぐる政治行政分析、戦後行政の史的研究